



チーム大蔵

～あいさつ えがお げんき～

大蔵小学校だより

NO. 8

令和3年10月1日(金)

北九州市立大蔵小学校

〒805-0043

北九州市八幡東区

勝山一丁目1-1

TEL (093) 651-0076

《文責》

大蔵小学校 校長 高宮 滋

振り返ってみましょう!! お子様との関わり方

本日〔10月1日(金)〕より、緊急事態宣言が解除となりました。このところ県・市内の感染状況は落ち着きつつありますが、大蔵小学校では、引き続き気を引き締めて教育活動を進めてまいります。

さて、私たち大人は、「子どものため」と思うあまりに、できる限りの支援、手助けをしながら誠心誠意、精一杯の気持ちで、目の前の子どもに関わっています。が、関わり方によっては「子どもをダメにしてしまう」ケースもあるようです。

ひと昔前、「モンスターペアレント」という言葉がかなり有名になったと思いますが、子どもの成長に悪影響を与える親として、最近いくつかの「〇〇ペアレント」という言葉が話題となっていますので紹介します。

公認心理士 佐藤めぐみさんのコラムより引用しています。(一部言葉や表現を変えてあります)



きれいです! 学校前の大蔵川のほとり

<その1 モンスターペアレント> 発祥：日本 特徴：過干渉

非常識で自己中心的な要求を突き付けてくる親のことを指します。

- ・「取り合いになるような遊具を幼稚園に置かないでほしい」
- ・「うちの子を発表会の主役にしてほしい」
- ・「風邪をひいたので運動会を延期にしてほしい」

<その2 ヘリコプターペアレント> 発祥：アメリカ 特徴：過保護、過管理

自分の子どもが傷ついたり、困難にぶつかったりすることを嫌い、失敗から守ろうとするあまり、子どもにつきまとい続けてしまう親のことを指します。親が子どもを観察し続ける姿が、ヘリコプターが上空でホバリングしている様子に似ていることから名づけられました。

子どもがチャレンジする姿をそばで見守れずについ手を出してしまったり、子どもができない宿題を親がやってしまったったり、子ども同士のもめごとにもすぐに干渉してしまったりと、子どもがイヤな思いをしないよう、そばで観察し続けるのが特徴です。



<その3 カーリングペアレント> 発祥：デンマーク 特徴：過保護、過管理

氷上のスポーツ・カーリングで、氷の上のストーンがスムーズに進むためにブラシで進路をならしていくように、子どもが進む道をならしてしまいます。そのまま進んだら立ち往生してしまうであろう困難や失敗、イヤな思いをめぐらうべく、親が先回りしてスムーズで通りやすい道を整えておくというのが特徴です。



<その4 トキシックペアレント> 発祥：イギリス 特徴：支配、自己愛

トキシックとは、「毒になる」という意味。子どもの人生を支配し、悪影響を及ぼします。普通子育ては、「子どもにとって何がいいのか」を第一に考え関わりますが、毒親は自分への愛を優先します。自分の欲求を満たすことを一番に考えるので、たとえ子どもにとってはいいことでも、親が気に入らなければ干渉する、やめさせることもあります。結果、親の思想を子どもに強く植えつけるため、その子は常に親の理想とする子ども像を追いかけってしまうケースも多いようです。



「〇〇ペアレント」・・・子どもには、どんな影響が？

<その1 自主性が育たない>



子どもの行動に親が口を出してしまうので、子どもの意見や考えが尊重されません。たとえ子どもが興味をもったとしても、親が「やっちゃダメ!」「危険だからやめときなさい!」などと、頭から否定していきます。その結果、子どもは、「何かをしたい」という意欲を喪失してしまいます。高校生になっても、大学に進学するのかもしれないのか、どんな大学に行きたいのかなど、親に相談しないと決められなくなってしまったり、就職先、結婚相手まで親が決めるようになってしまうかもしれません。

<その2 決断力が育たない>

子どもは成長とともに、自分で判断することが多くなります。小さいころから自分で色々なことを選んだり決めたりしてきた子どもには、成功したときの充実感、失敗したときの反省が積み重なります。そういった経験を積み重ねることで、進学・就職などの重大な決断ができるようになります。しかし「〇〇ペアレント」は、子どもの代わりに判断をしてしまいます。子どもは、いつまで経っても自分で決断できません。いつか自分で決断しなければならないときに困るのは子どもです。そして、そのツケは必ず親に回ってきます。



<その3 自己否定するようになる>



人は失敗から学びます。失敗を積み重ねた後の成功が自信につながります。しかし「〇〇ペアレント」は子どもの失敗を避けようとします。すると、子どもは失敗を経験できない(本当の成功を知らない)まま大人になってしまいます。そういう経験をしてこなかった子どもは、自己肯定感が低く、自分に自信がなくなってしまいます。

また、将来親から離れたとき、失敗をしてしまうと立ち直れず、ちょっとしたことで仕事をやめてしまうなどということにつながります。

子どもが小さいうちは子どもに寄り添い、十分に愛情を与えるのは大切なことです。そして、子どもの成長に合わせて、親と子どもの距離感は少しずつ変化していきます。いつまでも身の回りの世話をし、学習内容や友人関係にあれこれと注文を付けていくというのは考えものです。

「親子」の微妙な距離感・・・とても難しいものですが、自分のことは自分でさせるなど、年齢に応じての見守り方を探っていきたいものです。

10月 <神無月> 行事予定

1	金	45分授業・通常校時開始	16	土	
2	土		17	日	
3	日		18	月	「大蔵体育の日」練習開始 ひまわり学習塾
4	月	子どもひまわり学習塾 	19	火	
5	火	3年 消防士さんといっしょ 委員会活動	20	水	
6	水	3年 社会科見学 (いのちのたび)	21	木	子どもひまわり学習塾
7	木	5年 自然教室 } 子どもひまわり学習塾	22	金	
8	金		23	土	
9	土		24	日	北九州市子ども読書の日
10	日		25	月	子どもひまわり学習塾
11	月	子どもひまわり学習塾	26	火	
12	火	3年 「人権の花」感謝状贈呈式 代表委員会	27	水	
13	水	1年 交通安全教室 	28	木	子どもひまわり学習塾
14	木	子どもひまわり学習塾	29	金	「大蔵体育の日」会場準備 
15	金	大蔵子ども読書の日	30	土	
			31	日	大蔵体育の日 1.2年→3.4年→5.6年